ともに励まん

２０１９，２，２８（木）
北海道旭川永嶺（えいりょう）高等学校２年次だより　第４５号（通巻 90 号）

いよいよあす卒業式

永嶺高校の開校とともに入学した３年生が卒業します。昨年、一昨年度の卒業生も、途中学校名が変わったりして大変な思いをしたことと思いますが、ことしの３年生も、新しい学校づくりに苦労したことと思います。

そんなことを思いやりながら、**厳粛に、心を込めて**送り出しましょう。

はやくも弥生 ３月

3月は、卒業式、高校入試で、授業時数も少なくなります。登校日数は**わずかに１３回**です。

来週はまた入試（学力検査）がありますから、**机の中、廊下のロッカー内は空に**しましょう。

１３日（水）には単位・成績認定会議も行われ、１９日には３年次の教科書副教材の購入日となります。

１５日（金）には「先輩と語る会」。昨年も各種進路を決めた先輩の話を聞きましたね。

１８日（月）には新３年スタディサポート。着々と３年生になる日が近づいてきます。

修了式は２２日（金）。学校は急ぎ足で新年度に向かっていきます。

こんな時にこそ、キミたちは自らを高める日々を送ってほしい。授業がない日々だからこそ、自分の勉強を進める、深めるチャンスにしてほしい。３年の飛躍につなげる有意義な日々としてほしい。

３月３日は桃の節句と呼ばれます。もとは、身代わり雛といって、子どもの厄災を紙の人形（ひとがた）に移して流した「流し雛」という風習から、ひな人形を飾る祭りになっていったと言います。３月３日は古くは「上巳（じょうし）」と呼ばれ、「五節句」という、中国から伝わった、年に五つの節句行事の一つで、宮中では「曲水の宴」を催した。

桃は邪気を払い長寿と子孫繁栄につながると言うことで、この時期にちょうど花をつける桃が（もちろん本州、むかしの畿内の季節感であろうが）この節句の象徴になっていったということのようです。

桃の実伝説は古代から中国にあり、日本に伝わってからは『古事記』にも描かれ（イザナギ・イザナミの黄泉の国のくだり）、お伽噺（桃太郎伝説）にも伝えられてきています。

桃の花は清楚で可憐ですね。きょうは帰りに桃の枝を買って帰ろうか・・・。

友がみな　我よりえらく　見ゆる日よ　花を買ひ来て　妻と親しむ　（啄木）

新３年教科書購入日

新３年生の教科書等購入日は、３月１９日（火）の予定です。

昨年同様、３条本通り８丁目タカハタ商事ビル（カンダビル隣）が会場になります。

３年生は選択科目も多く、副教材もかなりの量になりますので、少々早いですが費用の準備、そして自分が購入する教材の慎重なチェックをお願いします。（詳細は８日に案内が出ます）

また、継続履修の科目の教材は引き続き使用する教材も多いはずです。なくさないように。そして新しく購入した物は、すべて記名しておきなさい。小学生に言うようだけれども、落とし物が非常に多い、そして、年度途中になくして授業、講習に手ぶらという者が少なくない（表裏一体ですが）。こんなことを書かなければならないのは情けないが、事実だから仕方が無い。

購入日には、ちゃんと自分の登録科目の教材がそろっているか確認すること。似たような科目で似たような教材もあるから、３年次はとくに慎重に！そして記名！記名！記名を！

キミたちの次の学年から

キミたちの次の学年から、大学入試が大きく変わるという話は聞いたことがあるでしょう。

「大学入試センター試験」が大きく様変わりします。国語、数学で記述解答がもうけられ、英語では民間試験の活用が導入される。その2年後には学習指導要領というのが改訂されて、高校の教科科目が大幅に改変される。キミたちはあっという間に「前時代の人」になってしまうんだね（ボクなんかは前前前世の人だ）。

さて、直接キミたちに関係しない話のようだけれども、1浪すればもろに関わってくる話ですし、なにより、どうしてそんな改変がなされるのか、知っておいてもいい話だろうと思い、紹介しますね。

教育内容や上級学校入学試験の改変には、そもそも何らかの「理念」があります。かつては「ゆとりと充実」をうたい文句にした改定もありました。今回は、根底には**PISA型学力の形成**をねらいにしていると言われます。PISA、知っていますか？ 国際学習到達度調査、なんて訳されます。知識詰め込み型の多い日本の教育ではなかなか好成績を挙げられない、なんて言われてきました。今度、その成績を上げるような教育内容にしよう（やや乱暴な言い方ですが）ということで、大学教育の内容、高校から大学への入り方（つまりは入学試験のあり方）、そして高校教育の内容を変えていこうという、大がかりな教育内容刷新の過渡期にキミたちはいるのです。

そこでは「学力（資質・能力）の三要素」として、次のようなことが謳われています。

①知識・技能・・・「学びの基礎診断テスト」＝高校で行うスタサポ、進研学力などで測られる
②思考力・判断力・表現力（話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと）・・・新共通テストで測られる
③学びに向かう力、人間性（主体性・多様性・協調性）・・・各大学の個別入学試験（国公立二次、私大）で測られる

といったことになっています。とりわけ話題になっているのが、②の、思考力・判断力・表現力をつけるための授業やテスト内容です。「センター試験」に代わる、いわゆる「新共通テスト」の国語なんかは、その一部は「情報処理能力ではないか」とまで言われるような形式なんです。文章以外にもグラフや統計資料、会話文、新聞記事などから情報を的確に読み取り、判断し、文章で説明（表現）する、という問題です。すでにその対策のための問題集なんかも出回っています。

現1年生からは、多くの学校でもこれに照準を合わせた対策が取られていますが、キミたちが大学に入ったら、または社会に出たら、すぐに次の学年の後輩たちがそうした教育内容で育ってきているわけで、将来、そうした人たちと競争(?)していかなければならないわけで、ぼやーっとしてはいられないんです。

自分の力で読み取り、考え、判断し、表現する能力。そうした力の無い人は取り残されていく、そんな時代にキミたちも否応なく放り込まれていく。そうしたことをぜひ意識しておいてほしいと思います。

卒業式。外面・内面ととのえて

☆☆☆　来週の行事と時間割　☆☆☆

３月		行　事　等 ①②は、１校時２校時をあらわします		★時間割を確認しよう ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
4	月	午前授業、会場設営　＊ロッカー空に	3 時間							
5	火	入試学力検査（自宅学習）								
6	水	入試業務（自宅学習）								
7	木	午前授業（午後自宅学習）	3 時間							
8	金	⑥ LHR　1 年のまとめ（取得資格調査等）	6 時間							

課題の未提出はないか？　平常点の取りこぼしはないか？　　（文責　伊丸岡）